

京都大学生態フィールド学系（生態学研究センター）准教授または講師 募集要項

令和8年2月27日

| | |
|-----------|---|
| 職 種 | 准教授または講師 |
| 募集人員 | 1名 |
| 所属および勤務場所 | 京都大学生態フィールド学系 生態学研究センター 所在地：滋賀県大津市平野2丁目509-3 (変更の範囲) 大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等 |
| 職務内容 | <p>当センターは、「生物多様性・生態系の統合的研究および次世代の育成を通じて、人と自然の持続的関係の構築に貢献する」をミッションとして掲げ、大部門制で運営しています。また、当センターは共同利用・共同研究拠点として機能するとともに、理学研究科における大学院教育を担っています。</p> <p>本公募では、生態学・進化生物学の基礎理論に幅広い関心を有し、理論研究を基盤として当該分野に新たな概念や理論的枠組みの提示に、継続的かつ意欲的に取り組める方を求めます。また、実証データに対する統計モデリングや、AI等を活用したビッグデータ解析手法についても一定の理解を持ち、理論と実証の有機的な統合を意識した研究展開ができる方が望まれます。さらに、国際的な研究動向を踏まえつつ、海外研究者との共同研究や研究交流の機会創出を推進するなど、当センターの研究活動の国際化に貢献できることが期待されます。採用された方には、主宰する研究室および理学研究科に所属する大学院生・若手研究者と積極的に関わり、大学院教育ならびに次世代研究者の育成に主体的かつ熱意をもって取り組んでいただきます。</p> <p>加えて、当センターの研究目標に沿ったプロジェクトを積極的に立案・推進し、広い視野で共同研究を展開できる方を望みます。さらに、当センターにおける教育や管理・運営だけでなく、西太平洋・アジア地域の生物多様性ネットワーク（DIWPA）や日本長期生態学研究ネットワーク（JaLTER）の活動に貢献し、グローバルかつ長期的視野を持って当センターが生態学に果たす役割を支える方を期待します。</p> <p>担当業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当センターの生態科学I（動物生態学）に関わる教育・研究、および運営にかかわる業務（理論生物学セミナー・特論等） ・理学研究科 生物科学専攻 動物学教室等における大学院教育にかかわる業務 ・理学部・全学教育科目における数理生物学・基礎生物学・生態学にかかわる授業・実習〔個体と集団の基礎生物学、数理生物学、生物学セミナーA（数理生物学セミナー）〕（職務内容の変更の範囲）京都大学の業務（教育・研究・運営） |
| 対象分野 | 生態学 |
| 応募資格 | 博士の学位を有すること。国籍は問いません。 |
| 着任時期 | 令和8年10月1日以降のなるべく早い時期 |
| 任 期 | なし |

| | |
|--------|--|
| 試用期間 | あり（6か月：本学教職員就業規則に基づく） |
| 勤務形態 | <p>専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当、週38時間45分相当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8：30～17：15勤務（休憩12：00～13：00） ・超過勤務を命じる場合あり <p>休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日 年次有給休暇等休暇制度あり</p> |
| 給与・手当等 | 本学支給基準に基づき支給 |
| 社会保険 | 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入 |
| 応募方法 | <p>提出書類</p> <p>書類をPDFとして作成し、以下の「書類送付先」に従ってご送付ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）センター長宛の応募文 （2）履歴書 （3）研究業績目録（主要著作5編に印を付して下さい。） <ul style="list-style-type: none"> （a）レフェリー制度のある学術誌に発表した原著論文、（b）総説、（c）著書、 （d）その他（紀要やプロシーディングス、解説記事など）に分けること。 （4）主要著作5編のPDFファイル （5）応募者がこれまでに獲得した外部資金獲得リスト （6）応募者のこれまで行ってきた研究の概要（2000字程度） （7）応募者のこれまで行ってきた教育の概要（2000字程度） （8）センターに採用された場合の研究・教育活動の構想（2000字程度） （9）応募者の研究内容について問い合わせることのできる方（2名）の氏名と連絡先（電話番号、電子メールアドレス等） <p>「提出書類」をPDFファイルとし、電子メールで以下にお送りください。 ecokoubo [at] ecology.kyoto-u.ac.jp（[at]を@に置き換えてください）書類を受領後に、受け取りの連絡をいたします。数日経過してもこの連絡が来ない場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。なお、電子メールでの書類送付ができない場合は、USBメモリあるいは光学ディスクに上記書類等を保存し、以下の宛先までご郵送ください。</p> <p>【書類送付先】 〒520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3 京都大学生態学研究センター 教員選考調査委員会 封筒の表に「准教授または講師応募書類在中」と朱書し、簡易書留によって郵送のこと。</p> |
| 応募締切 | 令和8年5月31日（日）17時（日本時間） 必着 |
| 選考方法 | 書類選考のうえ、面接を実施します。面接対象者には、別途連絡します。なお、その場合の旅費、諸経費は応募者の負担となります。 |

| | |
|------|--|
| 問合せ先 | <p>京都大学生態学研究センター教員選考調査委員会 ecokoubo[at]ecology.kyoto-u.ac.jp ([at]を@に置き換えてください)</p> |
| 教員構成 | <p>生態学研究センターの専任教員(令和8年4月1日現在)</p> <p>教授: 工藤 洋、木庭啓介、佐藤拓哉、中野伸一、山内 淳、山尾 僚 准教授: 樋口裕美子、本庄三恵、谷内茂雄 助教: 大竹裕里恵</p> |
| その他 | <p>京都大学では、平成28年度より新たな組織「学系」により人事選考を行っております。生態学研究センターは、フィールド科学教育研究センターおよび野生動物研究センターと学系を組織しております。このため、本公募の勤務地は生態学研究センターですが、公募は学系名（生態フィールド学系）で行います。今回の公募は、選考の過程で、面接等を行うことがあります。その際の諸経費は支給いたしません。</p> <p>提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。</p> <p>当センターは、男女共同参画を推進するため、女性の積極的な応募を歓迎します。性別にかかわらず、出産・育児・介護休業期間中の業績については、当該候補者にとって不利にならぬよう十分に検討いたしますので、該当する場合は履歴書に明記してください。男女共同参画推進施策の一環として、男女雇用機会均等法第8条の規定に基づき、同等の能力を有する複数の候補者が得られる場合は、女性を優先して採用します。また、若手研究者の積極的な応募を歓迎します。</p> <p>当センターのミッション・ビジョン・タスクは、当センターのホームページ、「刊行物」、「報告書・業績目録」をご覧ください。</p> <p>京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。</p> |